

# 2023年3月期 決算説明会

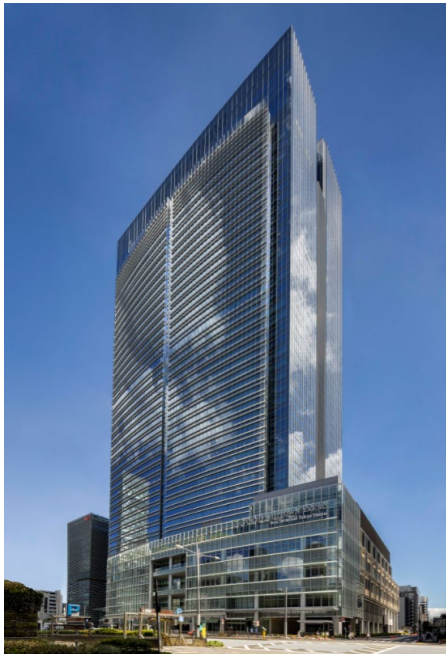
2023年5月11日

JBCCホールディングス株式会社

# 会社概要

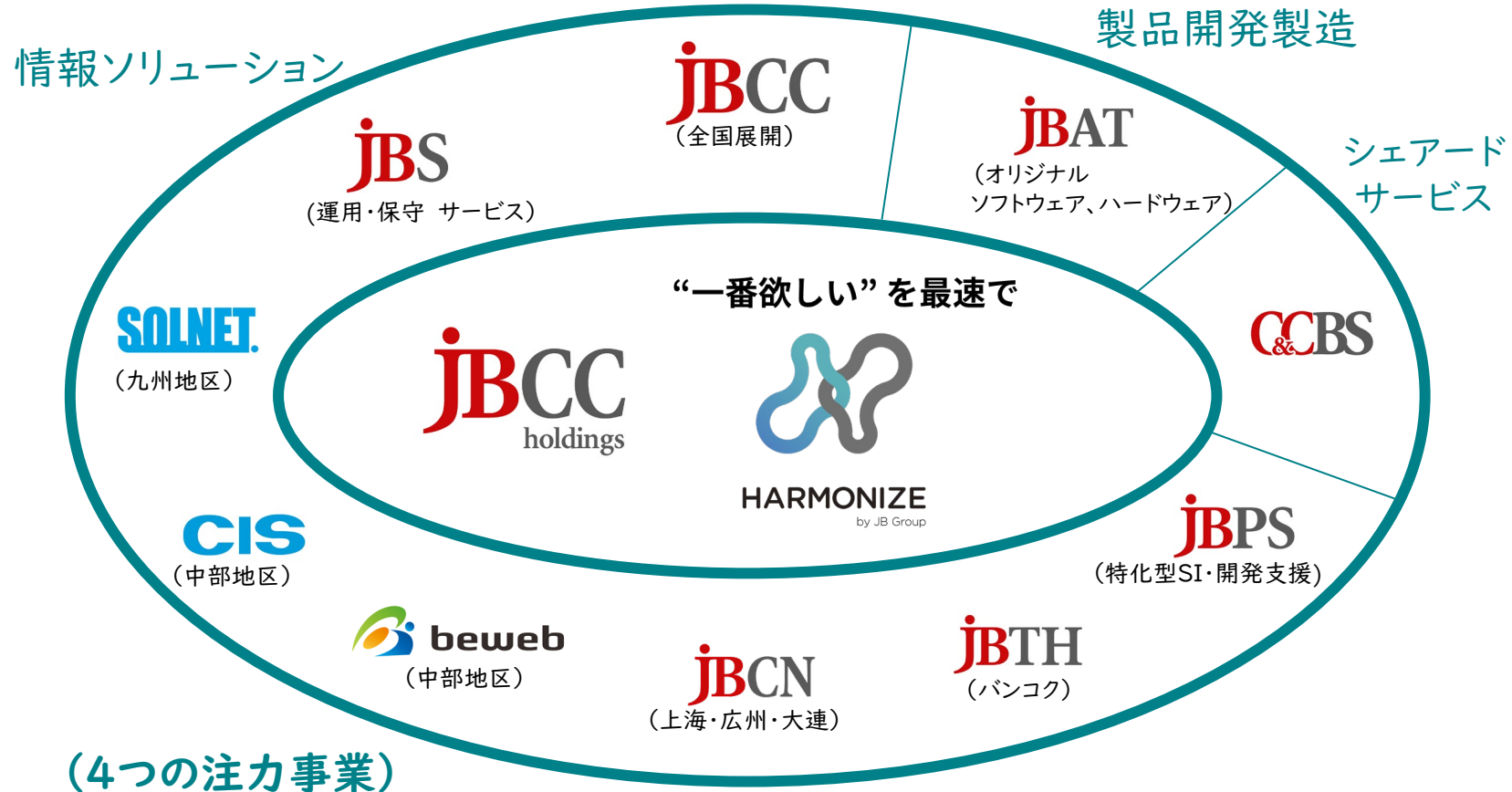
HARMONIZE  
by JB Group

社名 : JBCCホールディングス株式会社  
[プライム市場 情報・通信業 9889]  
設立 : 1964年4月1日  
資本金 : 47億13百万円  
社員数 : 1,993名 [有期社員を含む連結ベース]  
事業会社: 10社  
(国内 50拠点、海外 4拠点)



首都圏オフィスを統合し、  
2023年2月より、  
東京ミッドタウン八重洲  
へ本社を移転

## お客様のDXを実現するITサービス企業グループ



### (4つの注力事業)

超高速開発

クラウド

セキュリティ

クラウドデータ連携

※2023年4月1日現在

1. 決算概要および中期経営計画進捗状況
2. 注力事業のご説明
  - ① クラウド
  - ② セキュリティ
  - ③ 超高速開発
3. 人財への投資

## 事業構造変革が進み、継続成長路線を確立

売上高 対前年比+4.0%

## 注力事業の成長により、過去最高の営業利益達成

営業利益 対前年比 +22.1%

## 中期経営計画の目標値前倒し達成

中期経営計画目標値を見直し、好調な業績に合わせて期末配当を上方修正

## 事業構造変革の結果、売上、営業利益ともに対前年比増

(百万円)

	2022年3月期 実績	2023年3月期 実績	前年比	2023年3月期 業績予想 ※2022年10月31日修正	予想に対する 進捗率
売上高	55,934	<b>58,144</b>	<b>+4.0%</b>	56,500	102.9%
営業利益	3,083	<b>3,764</b>	<b>+22.1%</b>	3,600	104.6%
経常利益	3,227	3,847	+19.2%	3,700	104.0%
当期純利益 (親会社株主に帰属する当期純利益)	2,245	2,679	+19.3%	2,550	105.1%

# 事業分野別の状況

注力事業の成長により、SI・サービス共に売上・利益が着実に伸長

(百万円)

事業ドメイン (各ドメイン内に含む注力事業)	売上		売上総利益		売上総利益率	
		対前年比		対前年比		対前年比
情報ソリューション	56,140	+4.1%	16,717	+ 5.8%	29.8%	+0.5pt
SI (超高速開発)	<b>16,666</b>	<b>+13.9%</b>	<b>5,755</b>	<b>+14.2%</b>	34.5%	+0.1pt
サービス (クラウド、セキュリティ)	<b>27,648</b>	<b>+6.3%</b>	<b>8,392</b>	<b>+4.4%</b>	30.4%	-0.5pt
システム	11,825	-11.0%	2,569	-5.5%	21.7%	+1.2pt
製品開発製造 (クラウドデータ連携)	2,004	-0.5%	1,294	<b>+7.4%</b>	64.6%	+4.8pt
合計	58,144	+4.0	18,011	+5.9%	31.0%	+0.6pt

# 中期経営計画「HARMONIZE 2023」注力事業 進捗状況

## 4つ注力事業が引き続き順調に成長

## クラウド、セキュリティの新規受注を着実に積み上げ、成長基盤の確立

(百万円)

		2022年3月期 実績	2023年3月期 実績	2024年3月期 目標
超高速開発	SI全体に占める超高速開発比率 ※1	54.7%	60.1%	70%
	売上高	5,839	7,325	
	対前年比	+ 45.4%	+ 25.4%	
	受注高	6,292	8,227	
	対前年比	+ 71.2%	+ 30.7%	
クラウド ※2	売上高	3,169	4,905	CAGR 46%
	対前年比	+ 51.9%	+ 54.8%	
	新規の月額受注高累計	132	167	
	対前年比	+ 67.2%	+ 26.7%	
セキュリティ ※2	売上高	2,701	3,875	CAGR 42%
	対前年比	+ 38.5%	+ 43.4%	
	新規の月額受注高累計	90	130	
	対前年比	+ 79.3%	+ 45.1%	
クラウドデータ連携	累計契約本数	706	2,321	10,000 本
	対前年比	+ 553.7%	+ 228.8%	

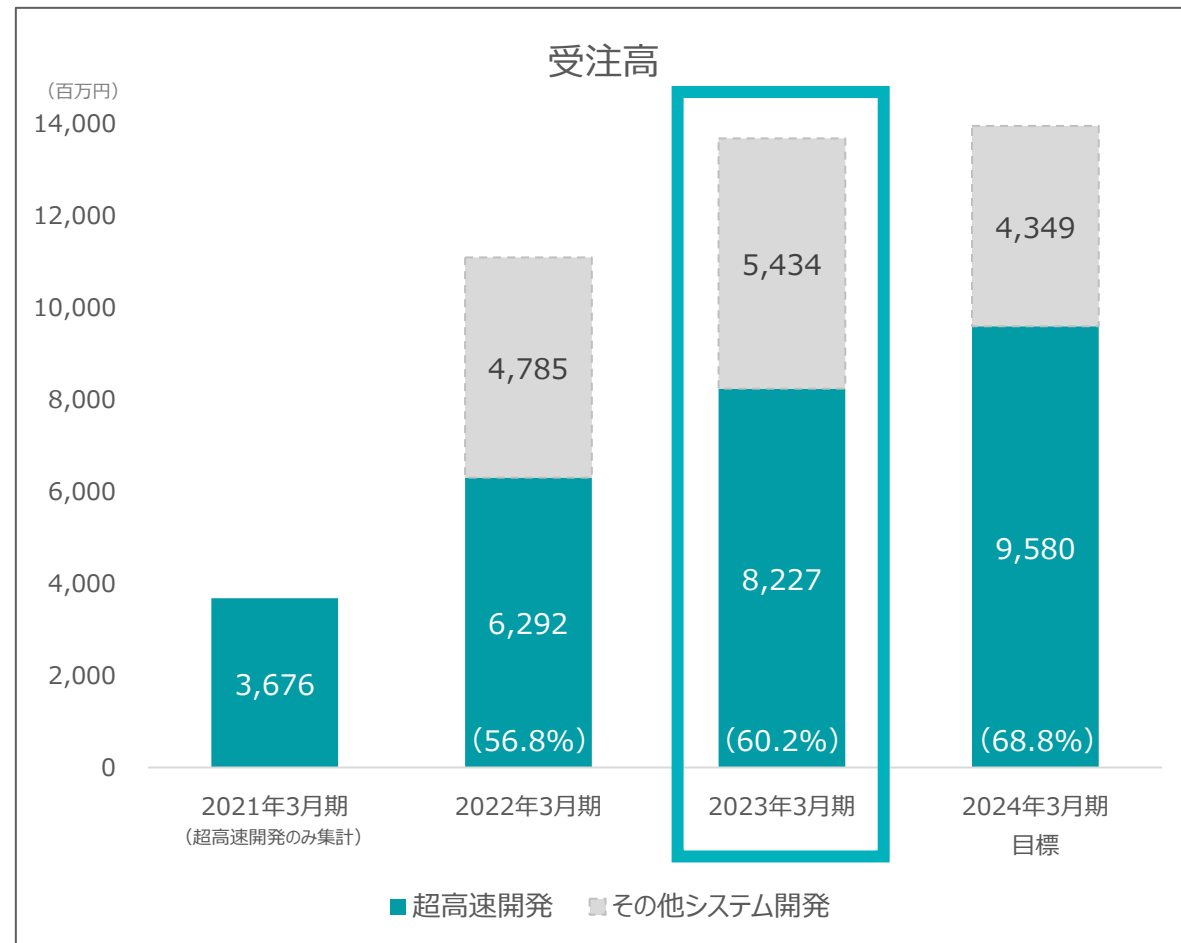
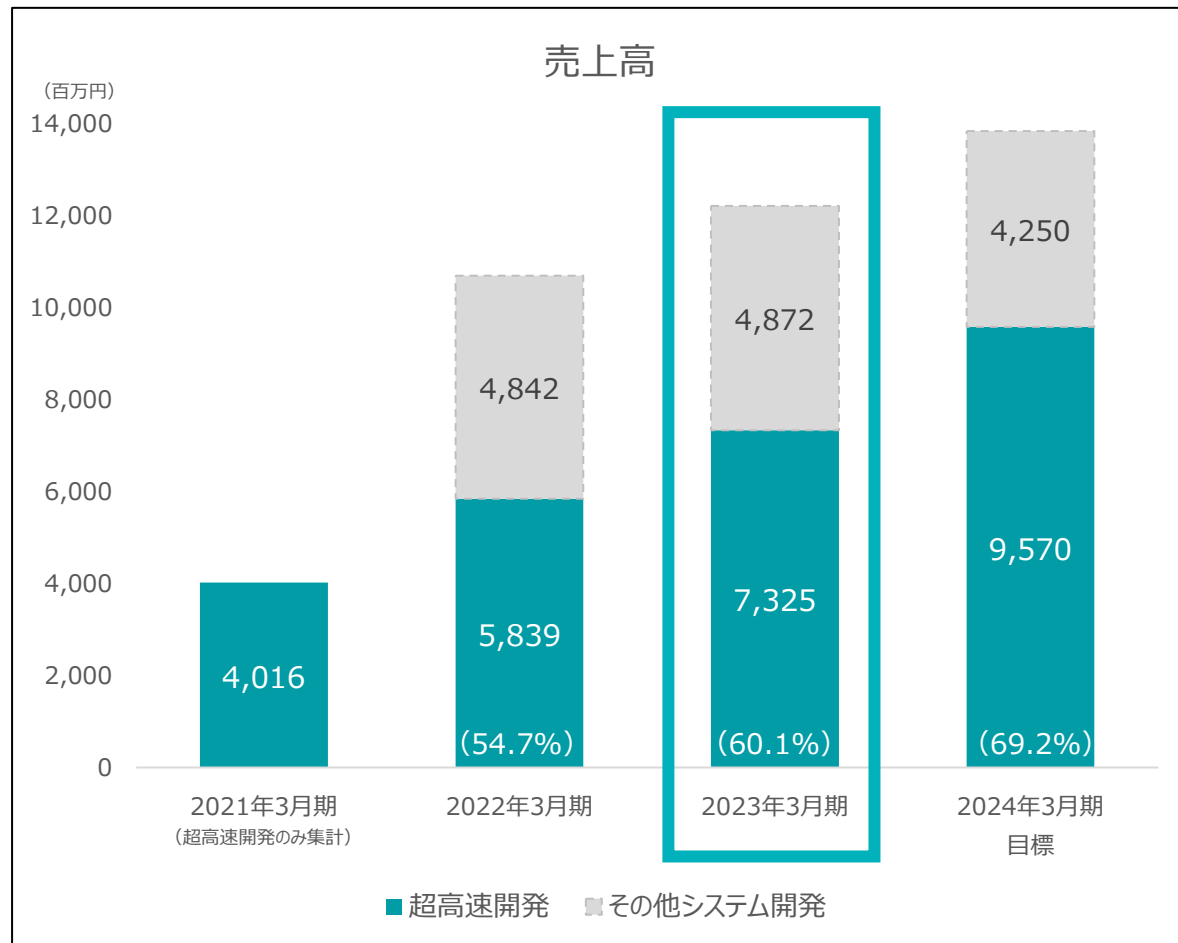
※1 「SI全体に占める超高速開発比率」は、システム開発に付随する運用保守や調達を除く売上高のうち、超高速開発による割合を示します。

※2 クラウド及びセキュリティはストックビジネスです。

# 注力事業の進捗

## 超高速開発

企業のDX需要を背景に、迅速・柔軟に提供できる「超高速開発」の受注が加速、大型案件を含むプロジェクトが順調に推移



※ ( ) は超高速開発比率を示す

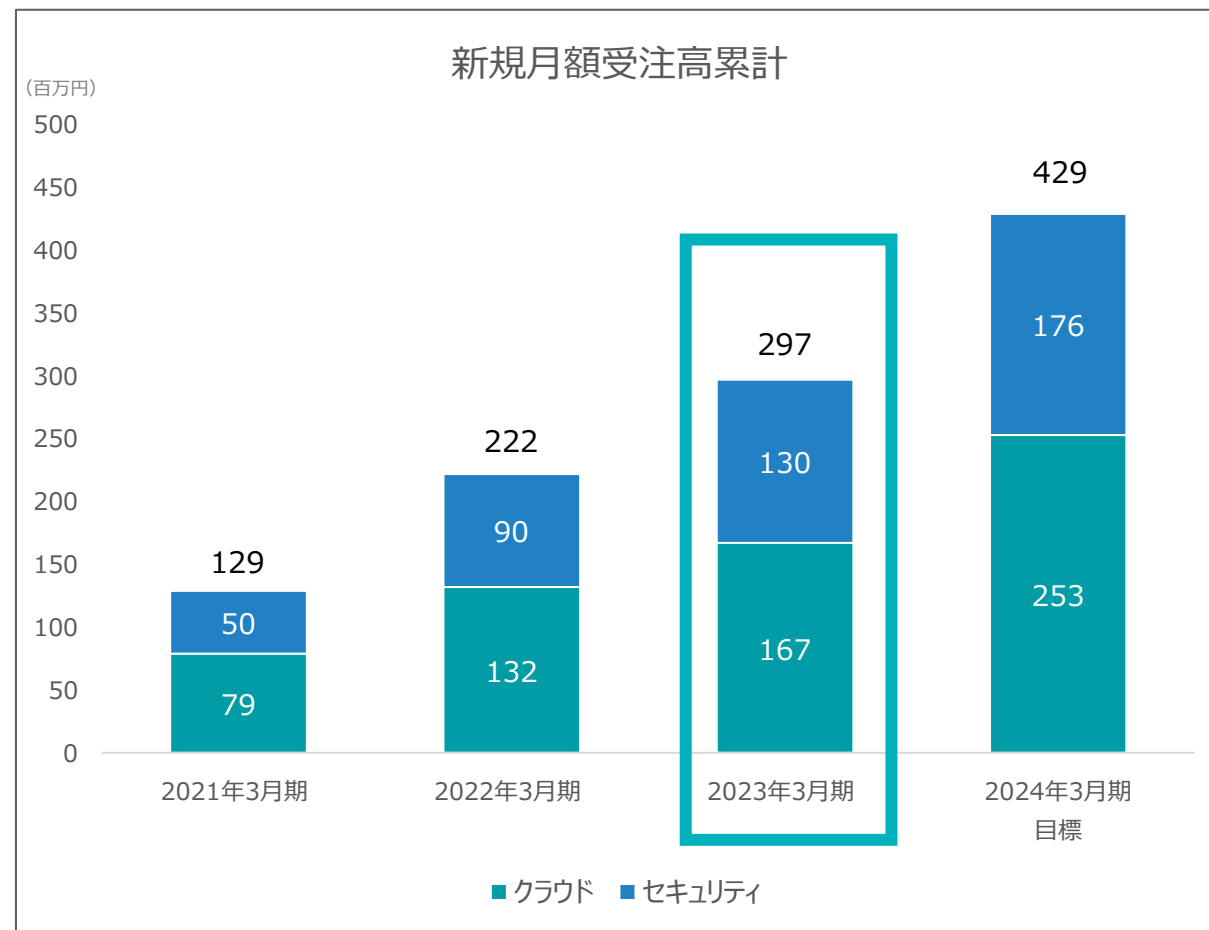
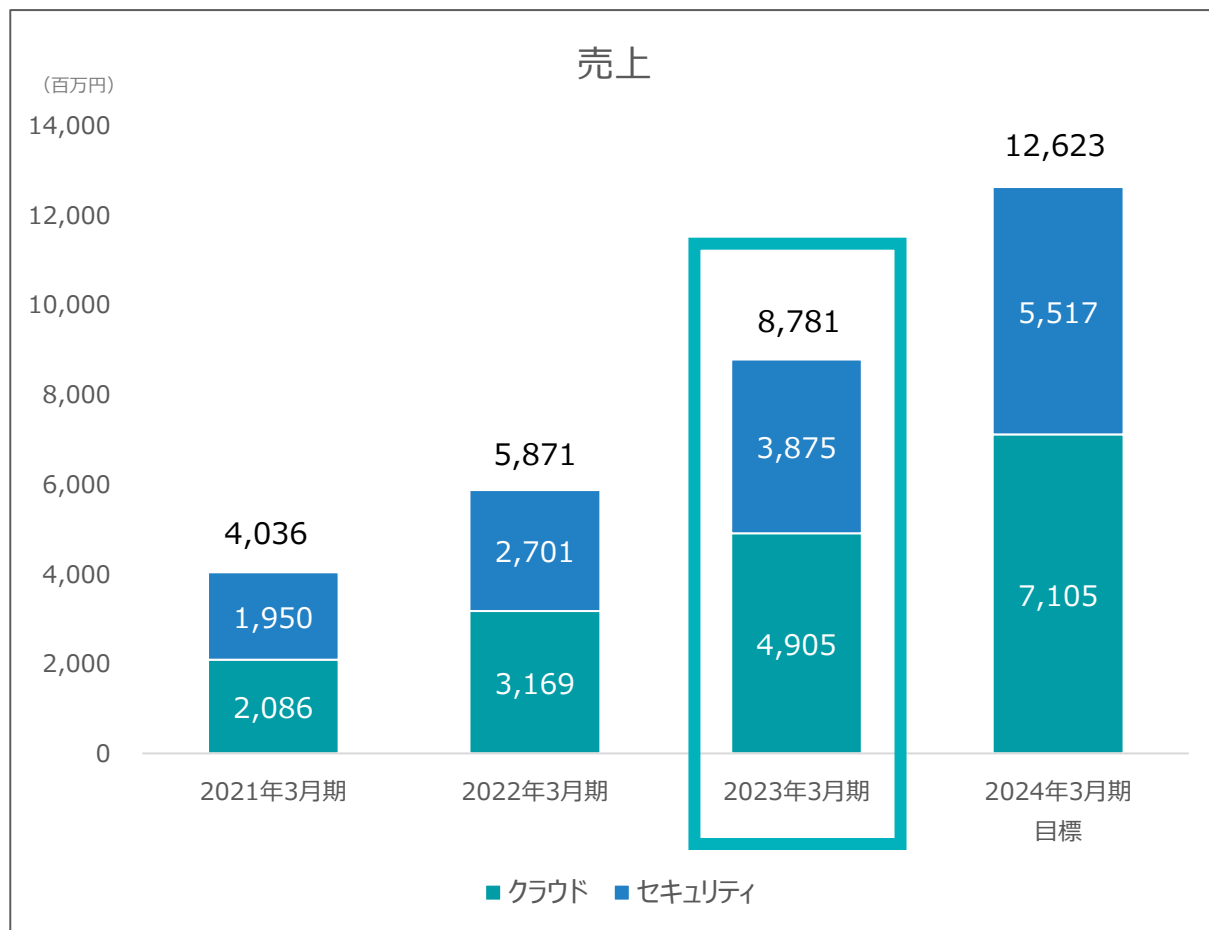


# 注力事業の進捗

クラウド・セキュリティ(ストックビジネス)

HARMONIZE  
by JB Group

働き方の多様化やセキュリティ需要増加を背景に、クラウド・セキュリティ共に成長(売上高対前年比 +49.6%)  
ストックビジネスが伸長し事業構造変革が加速



	2022年3月期	2023年3月期
売上高総利益率	30.4%	31.0%
売上高営業利益率	5.5%	6.5%
ROE	12.6%	14.1%
1株当たり当期純利益（円）	140.26	170.55
フリーキャッシュフロー（百万円）	3,494	-54

※フリーキャッシュフロー = 営業活動によるキャッシュ・フロー + 投資活動によるキャッシュ・フロー

# 中期経営計画 HARMONIZE 2023 最終年度

(2024年3月期業績予想)

HARMONIZE  
by JB Group

中期経営計画「HARMONIZE 2023」目標値を1年前倒して達成、目標値を見直し最終年度へ引き続き「HARMONIZE」に注力することで事業構造変革を推し進める

	2023年3月期 実績	HARMONIZE 2023 目標値			対前年比
		変更前※	変更後 2024年3月期 業績予想	増減率	
売上高	58,144	57,500	<b><u>59,000</u></b>	2.6%	+1.5%
営業利益	3,764	3,600	<b><u>4,000</u></b>	<b>11.1%</b>	+6.2%
経常利益	3,847	3,700	<b><u>4,100</u></b>	<b>10.8%</b>	+6.6%
当期純利益 (親会社株主に帰属する当期純利益)	2,679	2,550	<b><u>2,850</u></b>	<b>11.8%</b>	+6.4%

※2022年5月12日変更

# 株主還元について

好調な業績に合わせて2023年3期期末配当を上方修正、2024年3月期も増配や自己株式取得による株主還元を予定

	2023年3月期		2024年3月期 (予想)
	修正前※	修正後	
中間配当	31円	31円	<b>40円</b>
期末配当	37円	<b>41円</b>	<b>40円</b>
配当性向	39.9%	<b>42.2%</b>	<b>44.2%</b>
自己株式取得額	-	-	<b>1,000百万円</b>
総還元性向	-	-	<b>79.3%</b>

※2022年10月31日修正

(参考) 2023年5月10日付開示 自己株式取得に係る決定事項の概要

- ・取得対象株式の種類 : 当社普通株式
- ・取得し得る株式の総数 : 400,000株(上限)  
(自己株式を除く発行済株式総数に対する割合 2.5%)
- ・株式の取得金額の総額 : 1,000百万円(上限)
- ・取得方法 : 東京証券取引所における市場買付
- ・取得期間 : 2023年8月21日から2024年2月29まで

1. 決算概要および中期経営計画進捗状況
2. 注力事業のご説明
  - ① クラウド
  - ② セキュリティ
  - ③ 超高速開発
3. 人財への投資

HARMONIZE2023

注力事業

# クラウド

- ✓ 当社の取り組みと強み
- ✓ 今後の成長に向けて

# 外部からの評価

マイクロソフト・アワード 2021年のAzure (IaaS) 受賞に続いて、2022年はIaaSとSaaS双方で受賞

HARMONIZE  
by JB Group

## マイクロソフト・アワード IaaS/SaaS の双方受賞は2社のみ \*パートナー約1万社より

・評価ポイントは「クラウド活用と定着化を支援」

### Microsoft 365/ Office 365 Employee Experience受賞

#### 評価ポイント

Microsoft 365ワークショップを通して

- お客様に合わせた利活用提案&導入定着支援
- お客様の成長戦略に沿ったロードマップの提案



### Microsoft Azure Solution Assessments受賞

#### 評価ポイント

IT モダナイゼーション クリニック※を通して

- コスト削減をKPIに移行から定着化まで支援
- インフラシステム全体を継続的に最適化

※当社のクラウド移行アセスメントサービスの名称

# お客様のDX推進に貢献する当社クラウドサービス

SaaS/IaaS それぞれに付加価値サービスを提供

HARMONIZE  
by JB Group

SaaS

## 投資対効果を最大化

- ✓ クラウド利活用/定着化を実現する各種ワークショップ
- ✓ カオスになったクラウド環境を最適化・戦略的な投資へ



ワークショップ

IaaS

## コスト削減を実現

- ✓ クラウドリフトのコストを30%削減  
新しい価値への投資を可能に
- ✓ 最適な運用・管理を24時間365日提供  
お客様の運用負荷軽減



Eco one

運用 & 最適化付き  
クラウドサービス



# SaaSの投資対効果最大化を実現するワークショップ

クラウド利活用/定着化を実現する伴走型サービス

HARMONIZE  
by JB Group

全体  
デザイン

## ✓ ITを美しくデザインする「クラウドデザインワークショップ」

SaaSを最適化することで、SaaSサービスの増加によりカオスになったクラウド環境を最適化・戦略的な投資へ、DX推進への道筋をお客様と伴走型で描く

個別  
例1

## ✓ Microsoft 365 利活用ワークショップ

多機能化するMicrosoft 365製品の利活用で「使いこなす」を促進  
「たくさん機能があって使いこなせるかわからない」「利用定着するか心配」を解決

個別  
例2

## ✓ kintone DX ワorkshop

現場の効率化・生産性向上  
ユーザ自身が部門毎の業務改善を実現するご支援（市民開発）



ワークショップ

# ITを美しくデザインする「クラウドデザインワークショップ」

増加するクラウドサービスを常に最適な状態に維持



HARMONIZE  
by JB Group

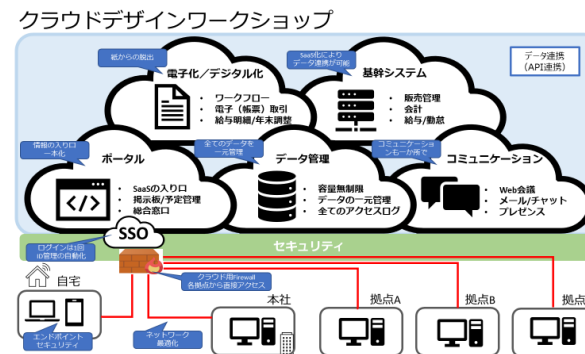
- ✓ SaaSサービスの増加により、カオスになったクラウド環境を最適化・戦略的な投資へ
- ✓ DX推進への道筋をお客様と伴走型で描く

## ①システム全体像の整理

システム	ERP	経費管理	生産管理	販売管理	会計法管理	在庫管理	倉庫管理
サブライチ	NETSYS, SAP, Oracle, Microsoft, CRACLE, obo, MYE, HANA	経費管理	生産管理	販売管理	会計法管理	在庫管理	倉庫管理
人事	統合人事管理, エンゲジメント	経費管理	生産管理	販売管理	会計法管理	在庫管理	倉庫管理
財務	経費計算・明細	経費管理	生産管理	販売管理	会計法管理	在庫管理	倉庫管理
営業	ABM・MA	経費管理	生産管理	販売管理	会計法管理	在庫管理	倉庫管理
コラボレーション	グループウェア	経費管理	生産管理	販売管理	会計法管理	在庫管理	倉庫管理
データ分析	BI	経費管理	生産管理	販売管理	会計法管理	在庫管理	倉庫管理

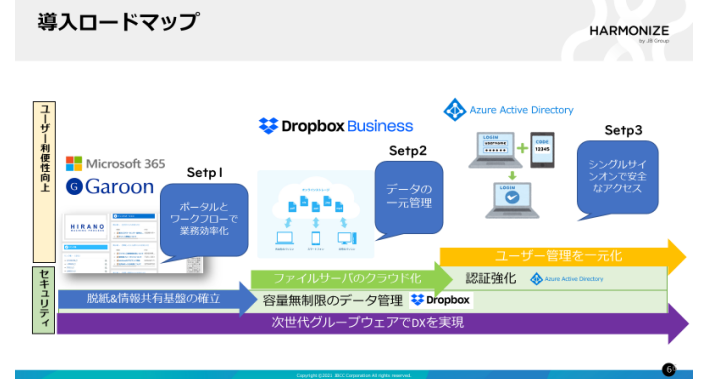
現行環境の整理・棚卸し

## ②あるべき姿を描く



セキュリティも考慮された方向性

## ③ロードマップ作成



ロードマップで全体スケジュールを提示

# ユーザコミュニティでお客様のクラウド利活用を推進

お客様同士をつなぎ、お客様のIT活用に役立つ情報をご提供



HARMONIZE  
by JB Group

- ✓ M365/kintoneをご利用中のお客様にご参加いただき
- ✓ お客様の実際の活用事例共有や課題ディスカッション
- ✓ 製品を熟知した当社スタッフからも情報提供
- ✓ 当社に招き、オフィスツアーで新しい働き方もご紹介



M365 Caféでは、  
Microsoft MVP 受賞者から  
活用方法を直接ご紹介します

みんなの活用方法が直接聞ける！

参加  
無料

**Microsoft 365**  
利活用雑談Café



キントーン  
**kintone**

ユーザー企業とおして  
活用アイデアを語り合うイベント！

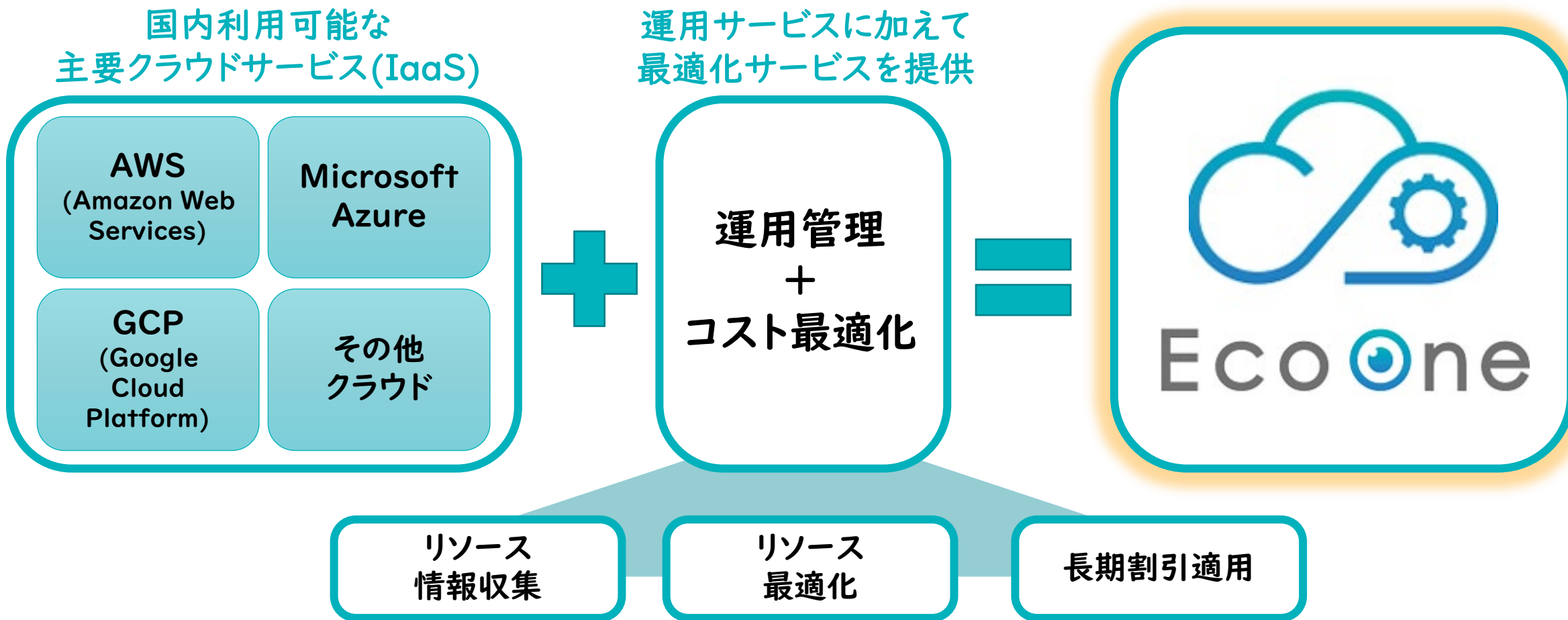
**キントークJBCC**

# IaaS 運用付きクラウドサービス EcoOne

HARMONIZE  
by JB Group

平均30%のコスト削減実績

一歩踏み込んだ運用・管理を提供し、お客様にとって最適な活用をお届けします

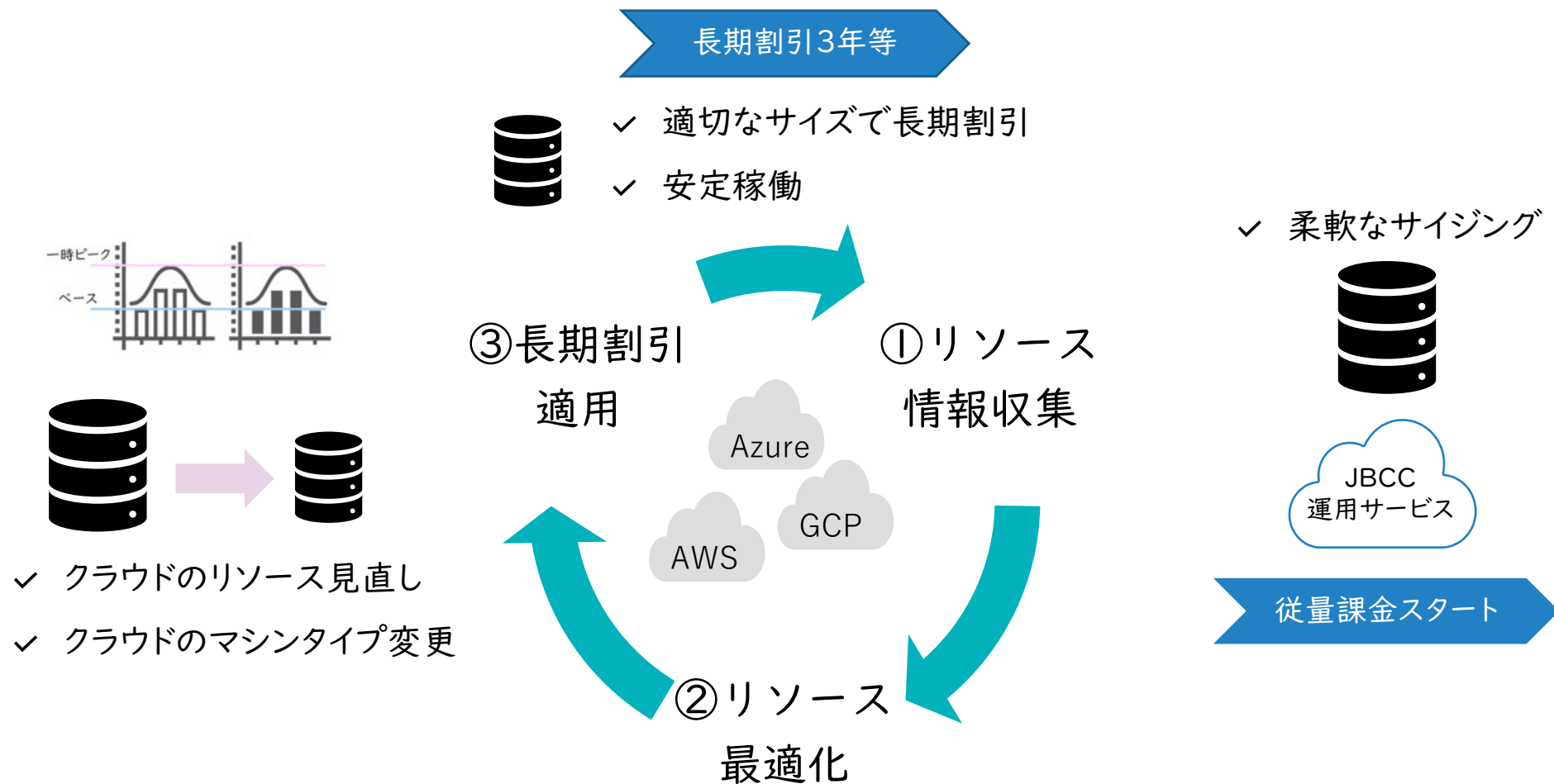


# クラウドコスト削減・最適化を運用で継続的にご提供

平均30%のコスト削減実績

HARMONIZE  
by JB Group

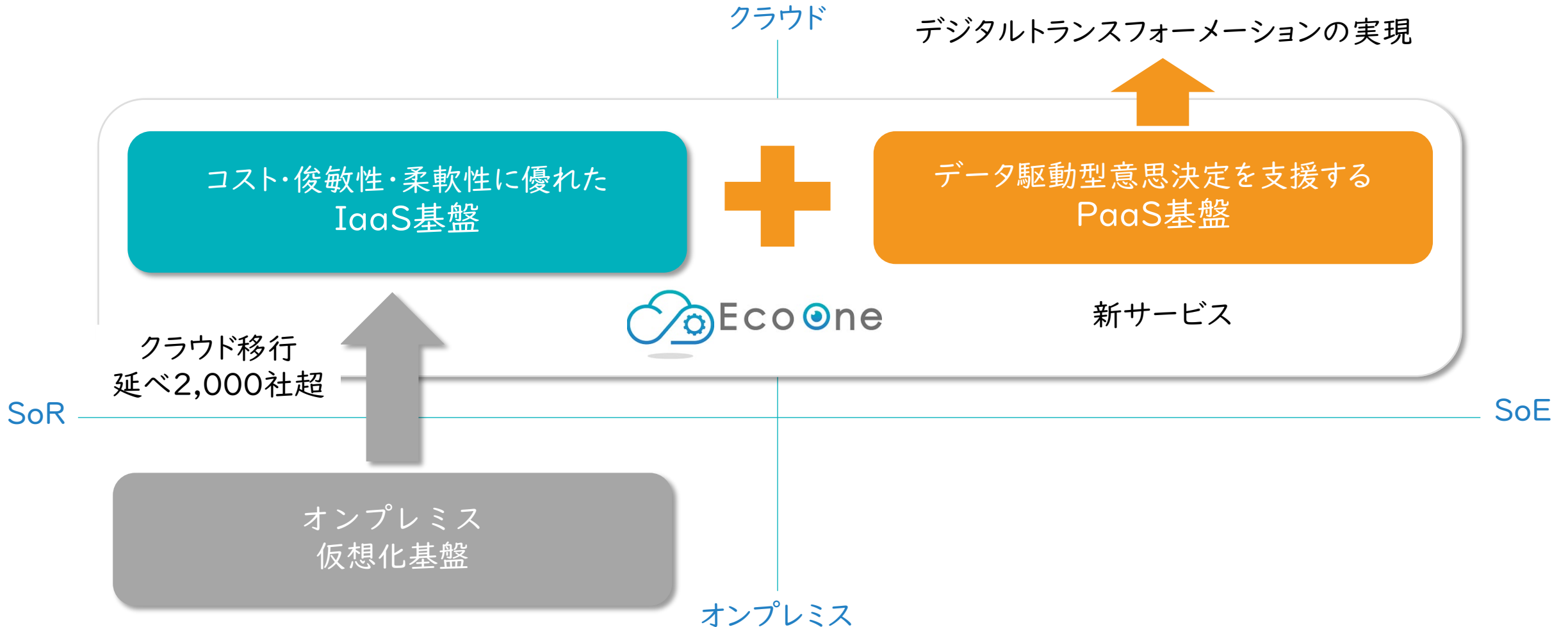
## 実稼働実績に基づいた「クラウドコスト最適化」の流れ



# 守りのITから攻めのITへ変革

DXに向けたクラウド活用

## クラウド移行の先にある「データ活用」を支援

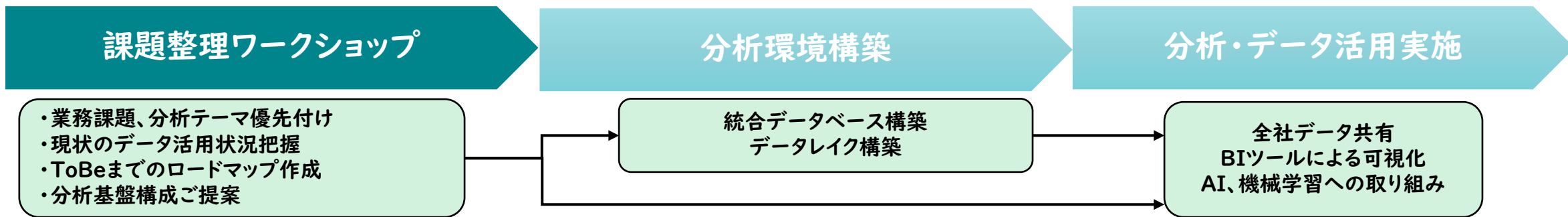


# データ活用のための「課題整理ワークショップ」 今期開始

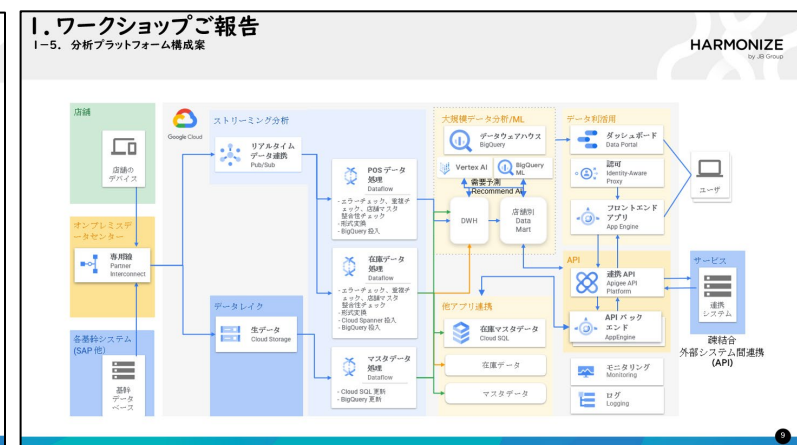
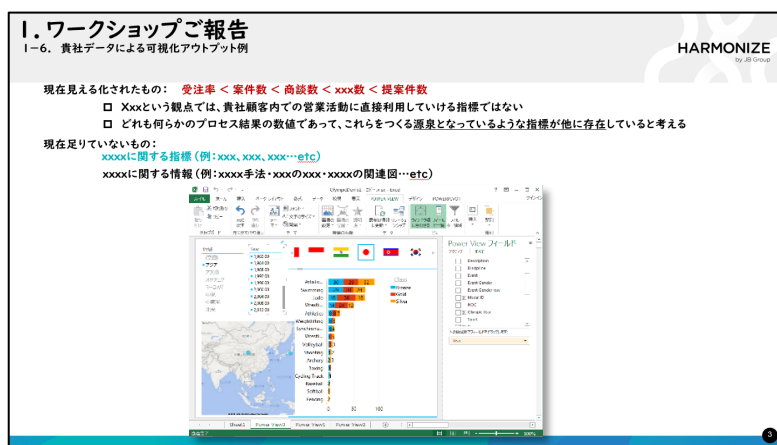
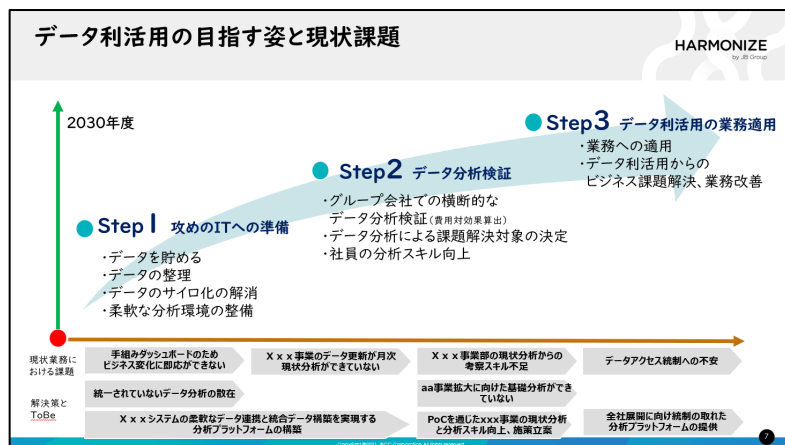
「ビジネス課題」をデータを活用することでいかに解決するか

「データ活用課題整理ワークショップ」(無償)でお客様のデータ活用具現化をお手伝い

- ① どの「ビジネス課題」に対してデータ活用を適用するか優先順位付け
- ② 対象とした「ビジネス課題」解決に向け「データ分析手段・クラウド技術」と具体的な進め方を提示



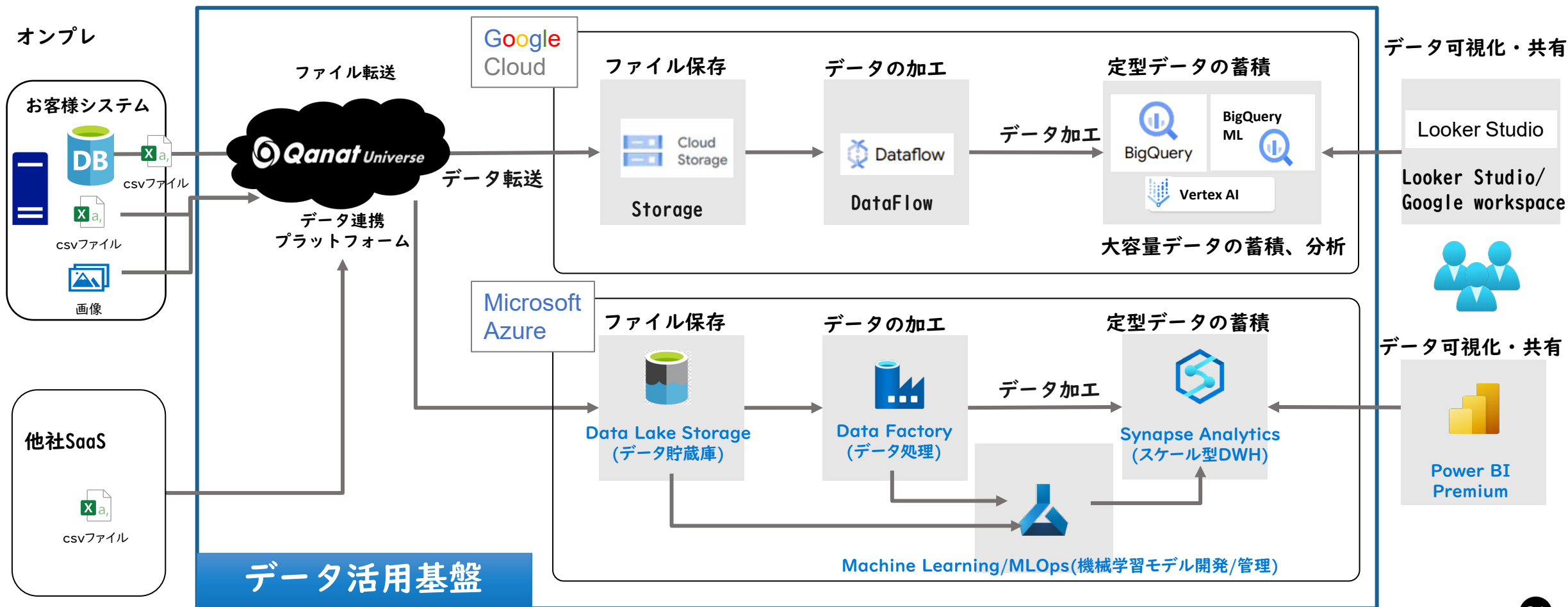
## 【ワークショップアウトプット例】



# データ活用のためのシステム連携&統合データベース基盤構想

Qanat Universeによるデータ連携基盤の2023年度上期発表予定

- ・お客様環境⇔GCP/Azure間のファイル転送をVPN無しで安全な通信で実現
- ・オンプレミス側のデータ生成をQanat Universeの機能で不要にし、クラウドへアップロード(他社はオンプレミス側でデータ生成必要)  
→データ収集/連携を迅速に実現。データ活用統合データベースを構築し、AIの活用を容易にする





# クラウドサービス開発状況、ポートフォリオの継続的拡大

(2023/3時点)

HARMONIZE

by JB Group

※今後発表予定のサービス

利用検討

導入構築

運用

定着、利活用

IaaS / PaaS

SaaS

最適構成の選定  
コスト/投資対効果の  
最大化

ITモダナイゼーションクリニック、クラウド移行アセスメント

データ活用ワークショップ※

クラウド  
デザインワークショップ

Microsoft 365  
利活用ワークショップ

kintone  
DXワークショップ(ソムリエ等)

運用付きクラウドサービスで運用効率化  
安価で安定した運用の実現

EcoOne

Microsoft  
Azure

AWS

Google  
GCP

IBM  
Cloud

運用オプション  
・IaaS/PaaS監視  
・バックアップ運用  
・24/365運用  
・コンテナ運用※

Microsoft 365

バックアップ/監査ログ監視  
アクセス権限管理オプション※

導入構築支援による利用価値最大化

kintone  
開発支援

Dropbox  
導入・移行支援

OBC

その他SaaS

継続的なコスト/構成  
見直し提案

コスト最適化サービス

定着化内製化支援

クラウド利用ガイドライン提供

データ活用支援※  
データ分析PoC支援※

Microsoft 365

・利活用定期ワークショップ  
・Power BIレポート開発支援  
・Power Platform導入支援  
・M365 Cafe (コミュニティ)

kintone

・なんでも相談(カスタマイズ支援等)  
・キントーク(コミュニティ)

HARMONIZE2023

注力事業

# セキュリティ

- ✓ 当社の取り組みと強み
- ✓ 今後の成長に向けて

# 日々脅かされる脅威には継続的なセキュリティ運用が重要

## サイバーセキュリティ攻撃においてランサムウェアの被害が増加

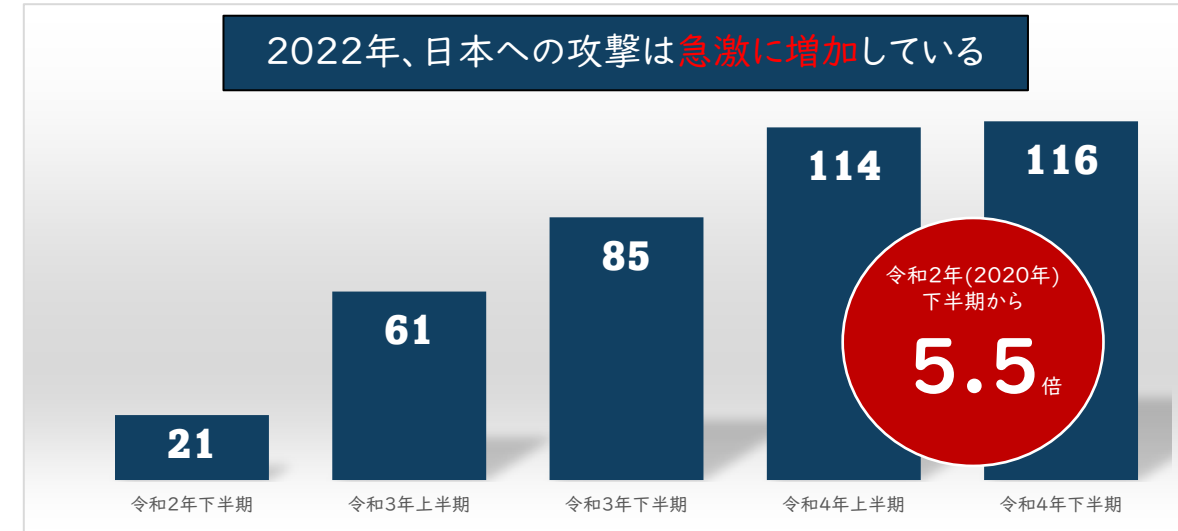
- ✓ サプライチェーン全体の事業活動や地域の医療提供体制に影響を及ぼす事例が確認されている
- ✓ 企業は、セキュリティ対策の重要性は認識しているが、巧妙化する攻撃に対して、どこまで対策・投資すべきか判断が難しい
- ✓ セキュリティ対策は専門性も高く、セキュリティのために人材を確保するのが難しい実情がある

## セキュリティ対策には継続的な運用が重要

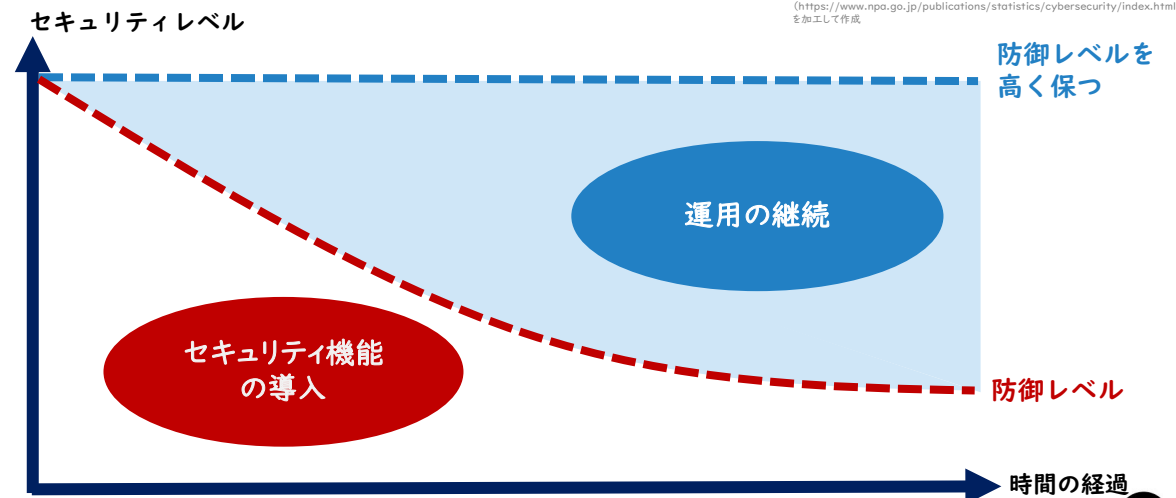
- ✓ VPN機器の運用管理ができていないことによりランサムウェアの感染経路となる事例が依然として多い
- ✓ クラウド環境の対策不足から感染拡大のきっかけとなっている

攻撃の巧妙化は日々変化するため、セキュリティレベルを高く保つためには、製品を導入するだけでなく継続的な運用が重要となる

【ランサムウェア被害の件数(国内)】



「令和4年におけるサイバー空間をめぐる脅威の構勢等について」(警察庁)  
(<https://www.npa.go.jp/publications/statistics/cybersecurity/index.html>)  
を加えて作成

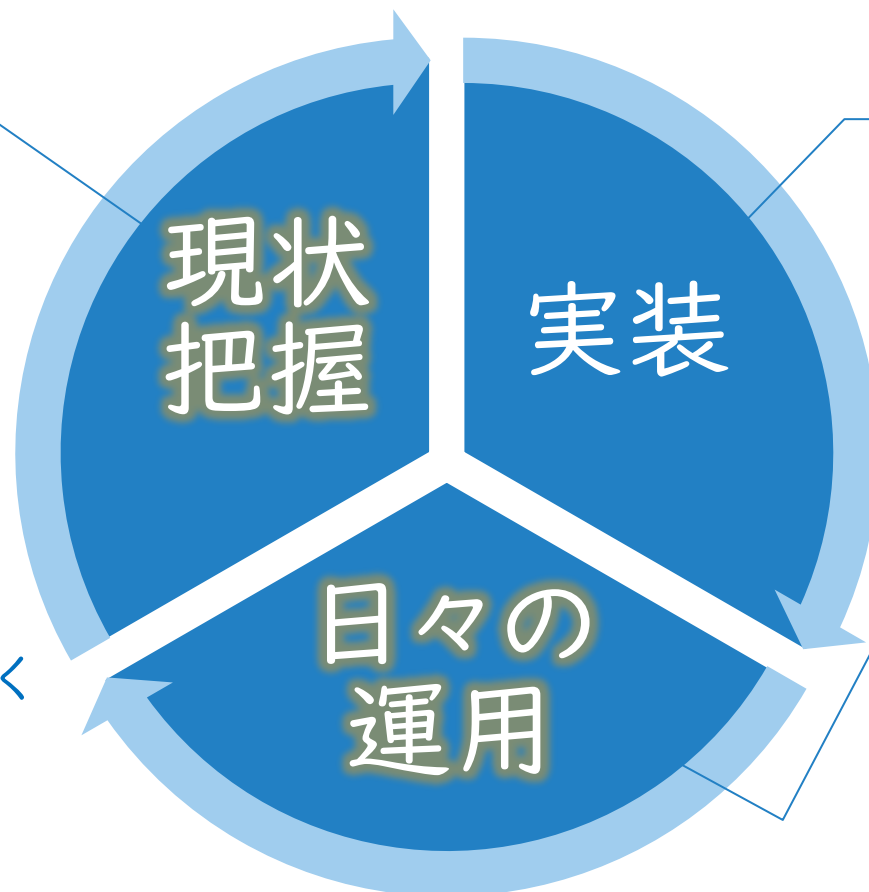


企業ごとに**目指す姿を描き、対象範囲と優先順位を選定**して進めていく  
ビジネス成長にあわせ対象範囲を広げていく(単体ではなく全体最適)

## 見える化サービス



- ・現状のセキュリティリスクを可視化
- ・お客様に合わせた対応方針の策定
- ・対応の優先順位を設定し**ロードマップ**を描く



## セキュリティ環境の構築

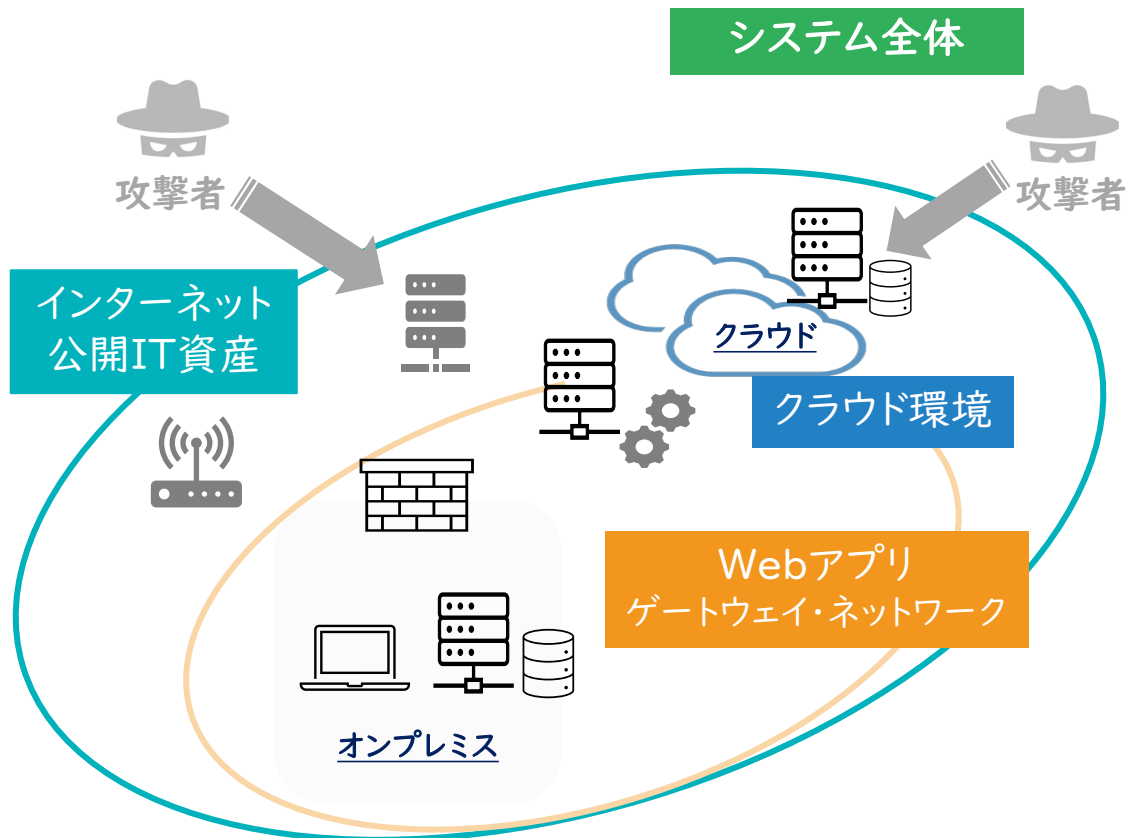
- ・高品質なプロフェッショナルサービス
- ・マルチクラウド環境に対応

## マネージドサービスの提供

- ・セキュリティ監視、ログ保管、分析
- ・運用開始後も**定期的な診断**で改善

クラウドやオンプレミスのシステム全体から個々のアプリケーションまで、お客様環境や課題に合わせ、**網羅的に見える化サービス**を提供

## 見える化サービスのカバーエリア



## 見える化サービスと実施効果

診断ポイント	実施効果
システム全体	セキュリティ全般のリスク状況が把握できる 業界ガイドラインへの準拠状況を確認
インターネットに公開されているIT資産	社内で把握できていないIT資産の脅威を外部から 攻撃者目線で早期に発見
クラウド環境	マルチクラウド環境の設定ミス・漏れを監査し、不正侵入 を未然に防御
Webアプリ	重要な脆弱性を発見し、アプリ改修などの対策を早期に 着手が可能
ゲートウェイネットワーク	業務外アプリの利用や、不審な通信の有無を可視化し、 情報漏洩を未然に防ぐ

(2023年4月時点)

## ➤ 見える化サービス 770社 に提供

- ・セキュリティリスクの可視化、全体提案によるロードマップの作成、ゼロトラストセキュリティ提案

## ➤ マネージドサービス 1,110社 (グループ全体) に提供

- ・エンドポイントセキュリティ 370,000台の運用監視
  - ・SOCとセキュリティエンジニアの連携により、迅速かつ高品質な対応
- ・パロアルトネットワークス社 アワード2年連続受賞
  - ・JBCCが「FY22 JAPAC※ Cortex Partner of the Year」を受賞

※日本を含むアジアパシフィック地区



### 評価ポイント

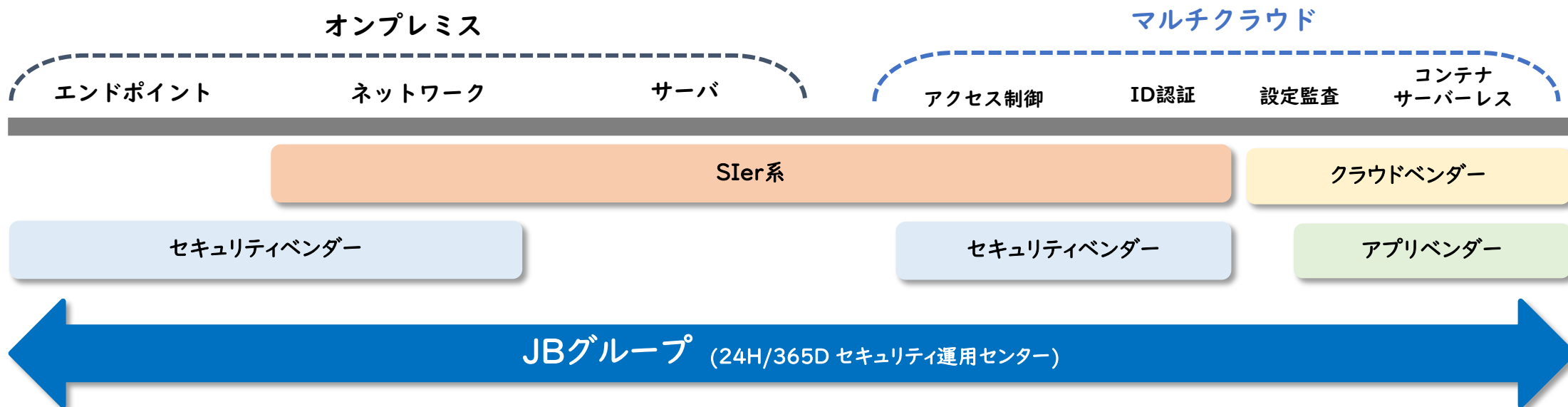
JAPACのパートナー1,000社以上の中から、エンドポイントセキュリティセキュリティブランドCortexの成長率 200%以上、新規獲得社数、日本で最初に難易度の高いパートナー資格を取得し、新たなマネージドサービス(NDR・Attack Surface)の提供を開始したことを高く評価

※パロアルトネットワークスは、サイバーセキュリティのグローバルリーダーです。企業や組織が安心してテクノロジーを活用できるよう、サイバー脅威を克服するための技術革新に努め、世界中のあらゆる業界の何千ものお客様に、次世代サイバーセキュリティを提供しています。

日本においても  
2年連続受賞

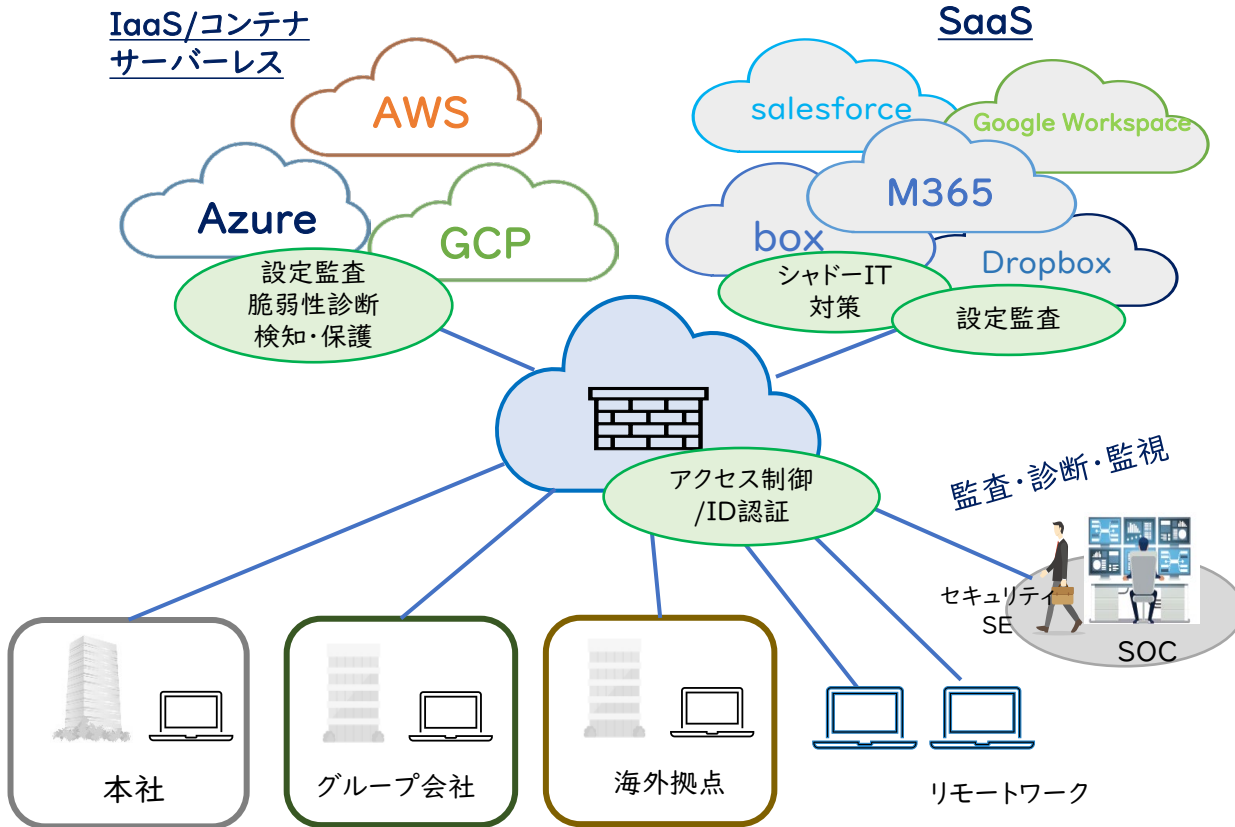


- **高度エンジニアにより大規模インシデントの原因をわずか2日で特定**  
復旧から原因追及、対応支援まで窓口1つで対応可能
- **業界トップクラスの資格を有したエンジニアがマルチクラウド・オンプレミス環境の包括的なセキュリティ対策を提供**



# マルチクラウド環境におけるクラウドセキュリティの対応力

## マルチクラウド環境



それぞれのクラウドの特徴をつかみ  
マルチクラウド環境において最適なセキュリティ対策

セキュリティガイドライン策定支援

アクセス制御/シャドーIT対策

設定監査 (IaaS/SaaS)

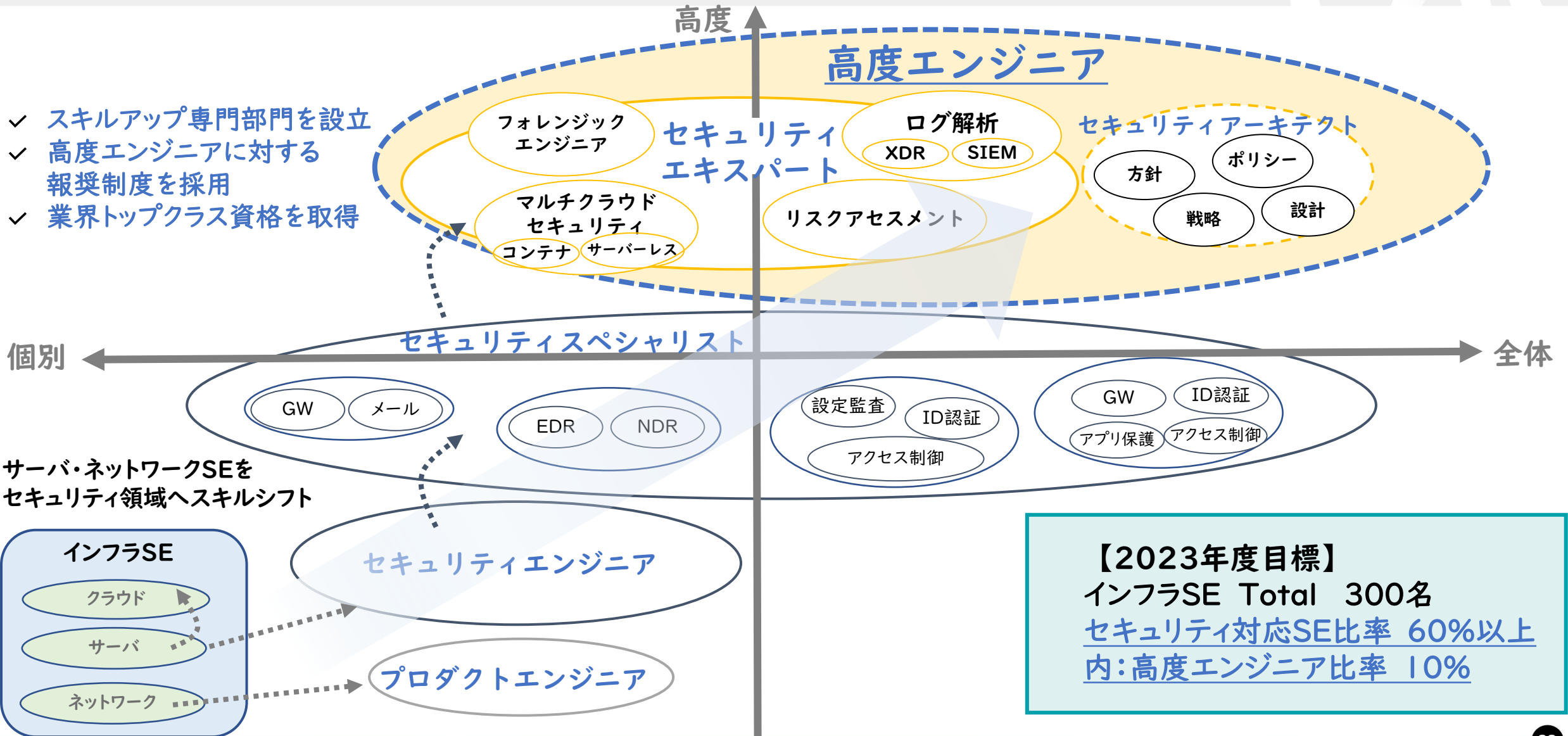
脆弱性診断 (ホスト・コンテナ・サーバーレス)

24H/365Dの運用による脅威の検知・保護



# 業界トップクラスのエンジニアを更に育成

- ✓ スキルアップ専門部門を設立
- ✓ 高度エンジニアに対する報奨制度を採用
- ✓ 業界トップクラス資格を取得



HARMONIZE2023

注力事業

# 超高速開発

- ✓超高速開発とは？
- ✓当社の取り組みと強み
- ✓今後の成長に向けて

当社の超高速開発は  
お客様の真の要件をあぶり出し、  
どこよりも高品質なシステムをどこよりも速くお届けします。

当社独自の開発手法  
JBアジャイル



ローコード  
開発ツール

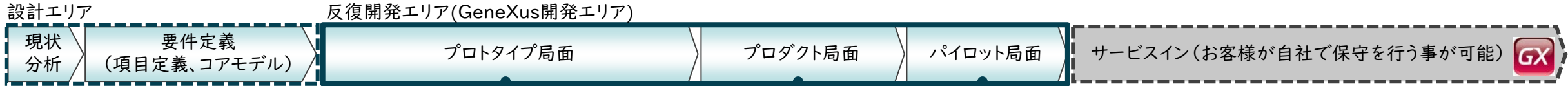


当社の  
超高速開発

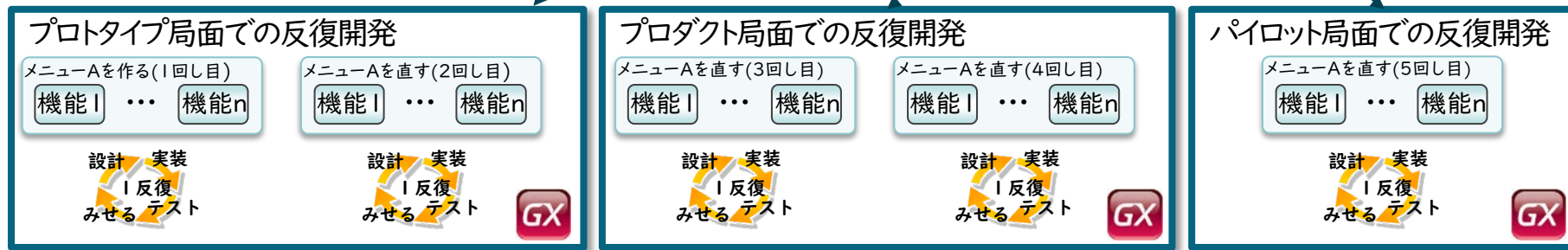
※ ローコード開発とは ソースコードを極力書くことなく「グラフィカル・ユーザー・インターフェース/GUI」という視覚的な操作を用いることで、短期間でのシステム開発を実現する手法です。

# 「JBアジャイル」で「究極の見える化」

## 「JBアジャイル」の開発フレーム



※5回のイテレーションで完成させる (繰り返していく)



## 「JBアジャイル」のポイント

- 『構想策定』実施による機能のスリム化
- 要件定義を実施することにより全体像を把握
- 開発単位を細分化し5回の反復開発を実施
- 反復開発を通じて要望を深掘り

## 「JBアジャイル」が生み出す価値

真の要件を抽出

お客様要望を実現  
(品質の高さを実現)

圧倒的  
開発スピード

# 超高速開発の取り組み

アセットの活用と今後の取組み

## ➤ アセットの活用

- ✓ 過去の開発で蓄積したアセットを活用し、SI事業の利益率向上に寄与

## ➤ 「JBアジャイル」の強み

パッケージに対する優位性

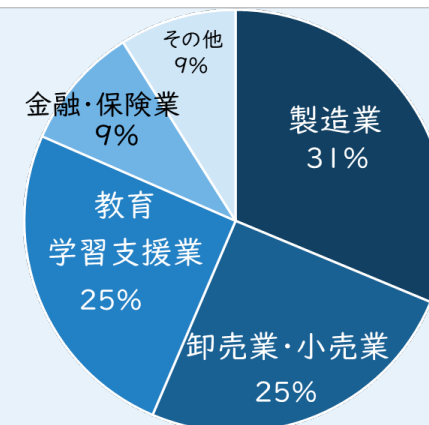
- ✓ 自社の強みをシステム化したい（他社との差別化）
- ✓ 短納期でのサービスインを希望されている

## ➤ 今後の取組み

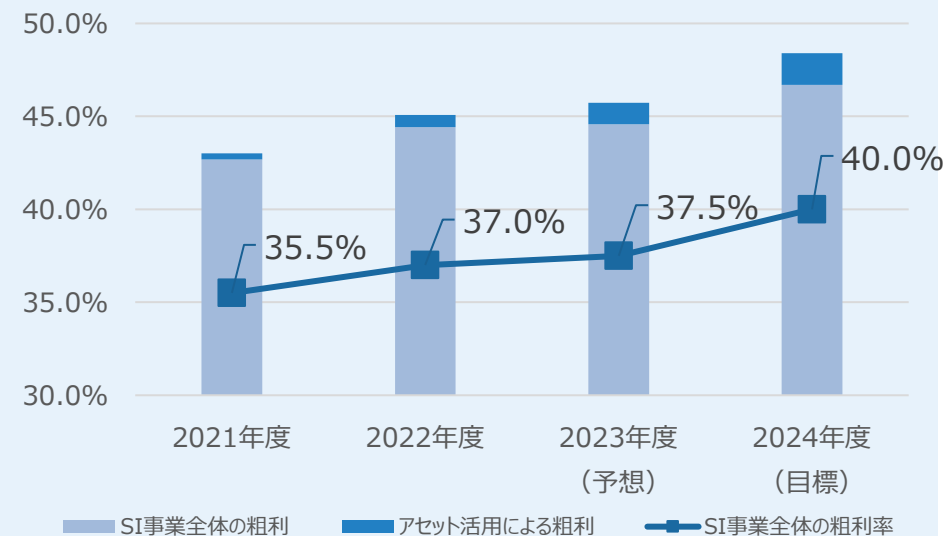
案件の大型化に伴い、パッケージとの差別化が必要

- ✓ 特定業種を対象とした開発に注力
- ✓ アセットのマイクロサービス化
  - アセットを独立したコンポーネント化（マイクロサービス化）
  - デモ環境を整備し、パッケージに勝る提案を可能に

過去9年間460社の開発実績 業種構成比(件数)



アセット活用による利益積み上げと今後の利益率目標(JBCC単体)



# 今後の取り組み アセットのマイクロサービス化

活用例(価値創造型提案を実現)

## 注力4業種のアセットをマイクロサービス化

実際の画面イメージで  
提案/セッション実施



独自性(経営課題、価値創造)

### お客様システム

① 進捗管理	③ 生徒情報管理	合否判定管理	計数管理
① 問合せ受付管理	⑤ 月謝管理	申請状況確認	汎用名簿印刷
② 受講手続	⑤ 新月謝管理	懇談システム	工程管理表
② ⑧ 申込受付管理	⑤ 返金処理	口座手続	成績管理
② 移籍処理	マスタメンテナンス	センター管理	インターフェース
② 退室・休室・講習欠席	⑨ その他	スーパーユーザー	

そのまま流用 (Dark Green) 部分流用 (Light Blue) 新規 (Dark Blue)

### マイクロサービス化したアセット

販売管理システム	発注・仕入管理 受注・売上請求管理	買掛・支払管理 売掛・回収管理	⑤ 決済処理	顧客属性(顧客マスタ)	顧客購買履歴
生産管理システム	需要計画	原価計算	調達管理		
インターネット受付システム	クーポン管理	受付管理	講座管理	収納管理	募集実績管理
学習塾校舎管理システム				証明書管理	
学習塾顧客管理システム	会員管理	③ 問合せ管理	① 契約管理	② 進級管理	⑧
	成績管理	⑦ 割引管理	⑥ 滞納者管理		
アプリ共通基盤	認証基盤	⑨	他システムAPI連携	ジョブスケジュール	ジョブ監視
Qanat					
インフラ共通基盤	Cloud環境		Security		

学習塾

建材卸

鉄鋼業

食品製造

# 今後の取り組み パートナー戦略

リソースの確保と戦略的パートナーの探索

HARMONIZE  
by JB Group

## ➤ 戦略的パートナー企業拡大

### ✓ 協業によるパートナー企業のメリット

- ① JBアジャイル適用による高品質な開発
- ② ローコード開発ツールを利用した高い生産性
- ③ アセットの相互利用が可能

JBグループの高利益を享受

業務知識の大幅な向上

### ✓ 活動状況

65社をターゲットに活動中

積極的に取組むパートナー

今年度目標:25社/現在:18社

1. 決算概要および中期経営計画進捗状況
2. 注力事業のご説明
  - ① クラウド
  - ② セキュリティ
  - ③ 超高速開発
3. 人財への投資



## 業界をリードする働き方、給与水準を実現。独自の価値を高め、さらなる企業成長へ

### 柔軟な働き方の実現、成果主義の導入

- 時間、場所、年齢、組織を問わない人事制度「Style J」
  - ・テレワーク/オフィスワークの実践・定着
  - ・シニア活躍（匠：60歳以上/極：70歳以上）：管理職11名
  - ・社内複業<sup>\*1</sup>「イノベース」AI活用サービス事業化：AI基盤検査
- 成果を評価、業界トップクラスの給与水準

昇給率 2023年度	上位50%平均：6.12%、全社平均：4.01% (連合平均3.69%)
年収	40歳平均年収 ※JBCC、上位50% 2022年度 1,050万円(業界平均860万円 <sup>*2</sup> )
賞与	日経ボーナスランキング ※JBCC 2022年度 夏3位、冬3位

\*1 通常「副業」と記載しますが、「正」「副」の区別なく「複」数の働き方を実現することを意図し、「複業」と記載しています。

\*2 厚生労働省 令和5年度賃金構造基本統計調査 情報通信業40歳～45歳の平均年収。

### 包括的な人財への投資

- 採りたい人財への採用強化
  - ・当社事業・働き方への理解促進
  - ・八重洲オフィス活用、長期・目的別インターンシップ等
- 多様性、人財育成・活用検討の活性化
  - ・人財部会への社員参画  
(経営層/事業責任者/女性役員・管理者/社員等)
  - ・HARMONIZE成長領域へのスキルシフト・育成  
(データ活用/AI、高度セキュリティスキル等)
- 誰もが挑戦できる企業風土の醸成
  - ・社内外複業の推進
  - ・事業、ITを活かした社会活動へ：AI、データ活用等

## J B C Cホールディングス株式会社 経営企画 [e-mail : ir@jbcc.co.jp]

### 資料についてのご注意

- 本資料は、当社の業績及び事業戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社の株式の購入や売却を勧誘するものではありません。
- 本資料に記載されている将来の動向や業績等に関する見通しは、リスクと不確定な要素を含んだ予測であり、将来の業績を保証するものではありません。実際の業績は、様々な要因により見通しとは異なる結果となる可能性があることをご承知おきください。
- 本資料利用の結果生じたいかなる損害についても、当社は一切責任を負いません。